

特集
未来を作るのは“文化の革新”
理事長・学長 向井 剛



20歳の原点 ハタチ

毎回、福岡女子大学に縁のある方々を紹介します。
あの人は20歳の頃、どんなことを考え、
どんなことに迷い、どんな選択をしてきたのか
若き日々の原点となるライフストーリー。



経営管理センター(財務グループ)主任
赤阪 美和子 AKASAKA MIWAKO

数据支撑

秋田県横手市出身。1988年宮城学院女子短期大学卒業。卒業後は食品メーカー、派遣会社に勤務。結婚後は夫の転勤に伴い高松と広島で派遣社員として仕事を続け、2014年福岡在住後は九州大学～福岡女子大学で勤務、現在に至る。

あの頃…心に響いた曲

19歳～20歳の頃に大ヒットした渡辺美里の「My Revolution」

お母さん世代のカラオケ定番曲ですが、学生の皆さんも歌番組などで聞いたことがあるのでは

ないでしょうか。『自分だけの生き方 誰にも決められない わかり始めた My Revolution 夢を追いかけるなら たやすく泣いちゃだめさ』と心の中で繰り返しては共感し、エネルギーでパワフルなこの歌に何度も励まされ勇気づけられたことか。カセットテープにダビングしドライブ 中によく大声で歌ったのを思い出します。青春時代に背中を押してくれた応援ソングです。

※『』内は渡辺美里の「My Revolution」
(作詞:川村直澄)より引用

イトに精を出し、当時大流行していた平野ノラの「ワーンン・ボディゴン」に身を包みディスコ通いの日々、いわゆる「大道デビュー」を果たし青春を謳歌していました。

せん。評価され時給がU.P.すればモチベーションも上がり、やりがいを感じながら働いていたように思います。またスタッフの仲間意識も強く、忙しければ忙しいほどテンションも上がり、皆で協力し合って何かを達成することの楽しさ(チームワーク)もその時に実感しました。

微東治　云　少　（　）

20 歳の頃、雪深い秋田の田舎から
仙台の短大に進学し、高校時代
の友人と二人平屋の一軒家で共同生
活をしていました。ほどなく寮生活をして
いる友人達の外泊先となり、多い時は
二人それぞれの友人が十数人集まり
合宿所のような状態になることも。長
期休みには光熱費がかさみ、皆から徵収
したほどです。また夏のある日、騒ぎ過ぎ
ぎて近所の方に通報されお巡りさんに
注意を受けたこともあります(笑)全
て若気の至りですね。

おしゃべりが過ぎてマネジャーに注意されることもしばしば。笑いのツボがどうたり妙に気が合ったのです。よく家に泊まりに行つては、お母さんのご飯をこぼそうになり、今でも家族ぐるみの付き合いが続いています。

学生時代のファーストフード店でのアルバイト経験は働くことの原点になっています。コミュニケーションの大切さ、クレームに対する対応や臨機応変な対応、率的に進める方法などを学ぶことも多くありました。

その後の社会人生活にも大いに役立ちました。

労働の対価として報酬を得るには自分の仕事に責任を持たなければなりません。どんな環境でもへこたれず笑って楽しく働く「生きる力」はこうして自然と身についたのでしょう。

第三章、方法与技术



幼年時代

片桐ユズル

ぼくの絵を 普通の大人はほめたが、
图画の先生は よろこばなかつた
枝をそんなに一本一本かいてはいけません
全体の感じをつかんで かくのです
つめたい色彩です

と 絵の先生は評した

のを 母親は見て
それはお前の心がつめたいからだ
不親切で 思いやりがない
もつと暖くなれ そなもんだのにねえ

夕食のとき たとえば 今日ちゃんと遊んだら
とても面白かったよ と話すと
そんなことして 目でもつついたら
たいへんだ おまけにあんな塙の上にのっかつたりして
塙がこわれたりしたら どうします、それに
あの子と遊ぶのは感心しません
などと言われるにきまっていた、それから
今度 放課後に 図画の先生が特別に教えてくれるんだって
などと言えば かならず それじゃ教えてもらひなさい
なんてことになると 遊べなくなるから
昼間あつたことは 言わないことにした

片桐ユズル（一九三一）

詩人、翻訳家。京都精華大学名誉教授。
一九三一年東京生まれ。早稲田大学卒。同大学院英文学修士課程修了。
戦争中、軍国主義のなかで少年時代をすごした体験から「ことばの魔術」に
批判的な態度をもつようになり、「ベーシック・イングリッシュ」や一般意味論に
共感するようになった。以来、高校・大学で、英語教授法である
GDM(段階的直接法)による授業講義を行う。

『片桐ユズル詩集』(思潮社)より
代表作として、『日常のことば』、『意味論入門』などがある。

CONTENTS

03-06 特集

未来を作るのは“文化の革新”

理事長・学長 向井剛

07-09 My life

凸版印刷株式会社 九州事業部企画販促本部 TIC企画一部 部長

石橋 匠様

10 研究室紹介 食・健康学科 佐久間 理英

11-12 世界歴史探究！ 近・現代史のすきまを埋めよう～アメリカ編～
国際教養学科 石神 圭子

13-14 FWU TOPICS

15 成果報告

16 社会で羽ばたくなでしこたち

山口朝日放送株式会社 報道制作局 宮原 瞳実さん

17 編纂の寄り道／人事消息

18 福岡女子大学100周年記念事業

福岡女子大学広報

FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY MAGAZINE

No.114 SUMMER 2021



もう一度日本を自信に満ちた
国へ。そんな想いを込めた
"Shape the Future"。

――大学ホームページの学長メッセージページに
「Shape the Future」という言葉があり
ます。この言葉に込められた想いや願いを
お聞かせください。

私が学生だった1970年代は、学園紛
争の余韻が残るもの、経済も好況で、世
間では「Japan as Number One（エズラ・
ヴォーゲル著）」などの本がよく読まれてお
り、日本は世界の見本とも言えるほど元気

に満ちていた時代です。しかし1990～
2000年代におけるバブル崩壊で日本は
俄然元気がなくなり、自信を喪失した結
果、今のような分断・格差社会になってしま
ました。

「Shape the Future」という言葉には、こ
んな時代を生きていく上で、学生たちに
もう一度中流意識を取り戻して欲しい、世の中に
もう一度中流意識を取り戻して欲しい、
その上で本学の基本理念でもある「次代の
女性リーダーを育成」し、社会を牽引して
人になってもらいたいという想いが込めら
れています。想いを言葉にし、表明してい
くことで、躍動する力が湧いてくる。言葉
には、そのようなパワーが宿っていると思つ
ています。

のは何でしょうか？

これまで私が何よりも大切にしてきた
のは、人との関係性です。私が大学時代を
過ごす少し前、ちょうど言語理論の変わ
り目で、構造主義という思想が生まれてい
ました。これは、語彙はそれ独自で成り立
つのではなく、個々の語彙の組み合わせや
関係性の中から意味が生まれてくる。どん
な現象にも構造があり、その構造を理解
することで現象を受け入れるという思想

なのですが、人間もそれと同じだと思いま
す。親や祖父母、兄弟、幼い頃の自分といっ
た縦の関係性と、友人や同僚、先生などの
横の関係性が今の自分を作っているので
す。よく日本人は「自我の確立ができるで
ない」と言われますが、私はそれは間違つ
ていると思っていて、さまざまな他人との
関わりの中から自分が生まれていく。他人
から影響を受けることは、決して自我が確
立していないということにはならない。そ
んな風に考えています。多くの人の考え方
ることで、新しい自分と出会えること

は、人との繋がりの素晴らしさですね。

自分の作っているのは出会った
人たち。人とのつながりを大切
に生きてきました。

――これまでの中学・高校・大学の教員と
してのご経験の中で、大切にされてきたも



聞き手

副学長
環境科学科 教授

庄山 茂子

古くなっていく知識や技術。一番
大切なことは“文化の革新”。

――向井学長が構想しているグローバル

足して100」というものがあります。これ
は私の幼い頃から母が言っていた言葉で
す。人生には山も谷もあるけど、全部足し
たら結局100になるのだから心配ない
よという意味でしょうか。この言葉は、いつ
も私を前向きにしてくれます。これまでの
困難を乗り越えられたのこの言葉のお
かげかと思うと、母との出会い、関係性に
も感謝するばかりです。



これまでの人生、そしてこれからの福岡女子大学。

未来を作るのは“文化の革新”

2021年4月から新しく理事長・学長に着任した向井剛氏。向井理事長・学長が、これまでの経験から福岡女子大学の
未来をどのように見ているのか。中世英語英文学を専門にし、言葉を大切にする想いを語っていただきました。



— 100年の歴史を訪ね見つけた
変わらないもの、変わっていく
もの。

— 今後の本学の展望を学生や教職員への
メッセージとしてお聞かせください。

松尾芭蕉の言葉に「不易流行」というものがあります。簡単に言えば、変わらないものの中にも新しい変化を取り入れていくという意味です。過去を訪ねると未来が見えてくる、これができるのは100年も歴史を持つ本学だからこそです。伝統や精神など、これまでいた教員や職員、学生たちの想いは今も本学に流れ込んでおり、



それを基盤に新しい時代を作るための取り組みも常に行っていかなければならずと思います。2023年の100周年に向けて、「リーダーシップセンター」や「ファースタディセンター」の設立も動いており、本学はまさに転機のとき。これまでの100年からこれから約100年に向けて、教員、職員、学生、卒業生が4輪駆動となり、同じ方向を向いて進んでいきたいと決意を新たにする毎日です。一緒に頑張っていきましょう！

まり学生と教師の関係性を表していくます。学生と教師で同じ目標を目指す一つのギルドのような世界があり、それが大学のあり方だと思うのです。ギルドに入ると、そのギルドならではのさまざまな特権がありました。本学でも全寮制教育や海外留学、体験的学習、リーダーシップ教育、そして男女共学はない女性だけで全てをやり遂げる（力仕事や企画運営など）環境というのも素晴らしい特権だと思います。入試を突破し、晴れて本学の学生となつた方々には、この特権を得たことを誇りに思い、改革の担い手として活躍していくみたいです。

—特にGLPの一翼を担うのが言語教育ですね。本学では現行のAEP^{*1}はACE^{*2}に改編されます。そこにもGLPについてお聞かせください。

リーダーというのは、先に話しました「失われた中流意識」をいかにもう一度立ち直させるかというところにあると思うのですが、それに加えてもう一つ、トップリーダーとして企業や社会を牽引していく一種のエリート層を作つていく必要があるのではないかという想いがあります。それが昨年から先生方と一緒に考えてきたGLPです。その中で言語教育といふものは非常に大きな役割を持っていると私は思っています。

— 先ほども話した構造主義の話ですが、これまでモノや考え方、アイデアがあり、そのラベルとして言葉があると考えられていました。しかし構造主義では、言葉がモノや考え方を存在させているというところにあるのです。例えば、私たちは虹の色を7色だと思っていますが、スワヒリ語を母語としているアフリカの人々は虹の色を聞くと「3色だ」と答えるのです。これは、スワヒリ語には虹の色を表現する言葉が3語しかないからなのです。また、日本語で「親」と言うと「母親か？父親か？」となります。が、英語では「parent」ですね。英語は

通ずるものですね。

先ほども話した構造主義の話ですが、これまでモノや考え方、アイデアがあり、そのラベルとして言葉があると考えられていました。しかし構造主義では、言葉がモノや考え方を存在させているというところにあるのです。例えは、私たちは虹の色を7色だと思っていますが、スワヒリ語を母語としているアフリカの人々は虹の色を聞くと「3色だ」と答えるのです。これは、スワヒリ語には虹の色を表現する言葉が3語しかないからなのです。また、日本語で「親」と言うと「母親か？父親か？」となります。が、英語では「parent」ですね。英語は

ジエンダーを問わない。このように、言葉がジエンダー観までも歪めていることがあるのです。

AEPからACEへの改編には、コミュニケーションの手段としての言語だけではなく、モノの見方や考え方を刷新し、インベーションを起こす。自らの世界観を柔軟にす

るという意味が込められています。技術や知識は10年もすれば古くなつていくので、学生たちはその先にある自ら新しいことを学んでいく姿勢をACEによって身に付けて欲しいです。多くの人が「イノベーション」とは技術の革新と捉えていると思いますが、もっと大切なことは“文化の革新”

です。それを実現できるのが言語だと思います。

— 向井学長が本学のことを「ギルド」に例えられる意図を教えてください。

国際文理学部開設から10年、本学は非常に高いレベルまで達しました。そしてこれから10年で、さらに研究にも力を入れて大学院教育を充実させたいと考えています。例えば本学の美術館を展示する空間と発表する空間というように、ゾーニングして研究発表の場を作つたり、教授に公開講演をしていただき専門分野を多くの人に共有したりするなど、教育と研究のコラボレーションをすることで、さらに本学の発展につながるのではないかと思うのです。こうして常に進化し続ける本学のことを、中世のアカデミック職能集團である「ギルド」のように感じています。

日本の学校教育は小・中・高・大と積み重なつてゐるような、一番高度な教育を施すのが大学といふイメージではありませんか？でも英語では大学のことをuniversity（ユニバーシティ）とかcollege（カレッジ）と言ひますよね。これはuniverse（宇宙）とかcolleague（仲間）からきてくる言葉で、つ

*1 AEP: Academic English Program(学術英語プログラム) *2 ACE: Academic & Career English Program(学術・キャリア英語プログラム)
2022年度新カリキュラム導入に伴いAEPはACEへと改編する。英語を1・2年次に集中して学ぶプログラム。国際社会や異文化について英語で学び理解を深め、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を磨くとともに、多元的思考力・表現力を養う。授業は1クラス15名程度の少人数制で、習熟度別クラスを編成。「Academic」は「学術」を意味し、「Career」は「生涯」と「職業」の2つの意味を持つ。



やりたいことを探さなくともいい。
今の自分に素直に生きてください。



INTERVIEWER

国際教養学科2年/
福岡県立福岡中央高校出身 油布 茉里愛さん国際教養学科2年/
熊本県立玉名高校出身 吉田 小春さん

凸版印刷株式会社
九州事業部企画販促本部
TIC企画一部 部長
いしばし たくみ
石橋 匠 様

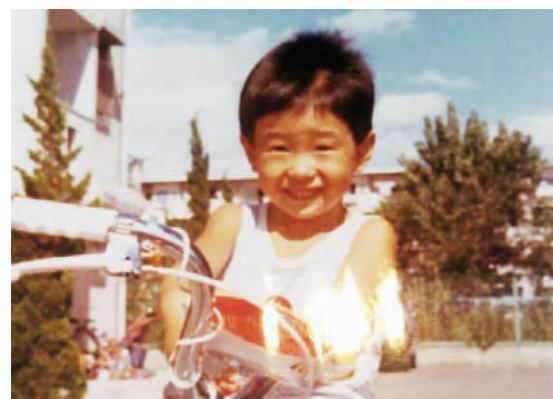
1975年生まれ。福岡県大野城市出身。九州芸術工科大学(現・九州大学芸術工学部)を卒業後、2001年に凸版印刷へ入社。

自分の意見を貫き通す
我が強い子どもでした。

——どんな子どもでしたか？その頃の夢
も教えてください。

私の小さい頃は、とても我が強い子どもだったと思います。自分で決めたことはコレだ！と突っ走っていましたね。両親は自営業をしていたので、祖父を呼び出している自分が行きたい場所へと連れ回していたと母から聞きました。ある時、いつものように祖父を呼び出して、自転車屋に連れてていき「補助輪を外してくれ」と言い、お金だけ祖父に払わせたことがあったそうなんです。その当時、まだ5歳くらいだったので、お金は大人に払ってもらわないと思ってたんでしようね。祖父もびっくりしていたそうですね。現在、私には3人の子どもがいますが、一番下の娘がよく私をお店に連れていき、「お金を出してくれ」とお菓子などをねだられます。「ああ、昔の私もこうだったのかな」と遺伝子の強さを感じていますね(笑)

この頃の夢は『商売人』。母方は酒屋をやっていて、今では許されないことかもしれません。せんが、小学4年生くらいの時によくお店の手伝いをしていました。今思うと決して労力にはなっていなかったと思いますが、そこでお小遣いをもらって欲しいおもちゃなどを買つていましたね。お店にいると、お客様との会話も楽しいし、何よりお客様が嬉

自分を成長させてくれた
高校～大学時代の経験。

——学生時代にやつてよかつたことは？

それによつてどんなことを学びましたか？

高校生になって、初めてバスケット部に所属したのですが、ここではコツコツ学ぶことの大切さを学びました。高校から始めたものだから全くの初心者で、けれど周りは小学校や中学校からやつている人ばかり。当時はyoutubeなどもなかつたので、バスケットの本

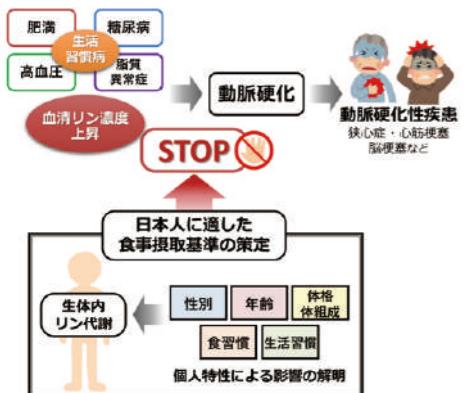
しそうに商品を買つていかれる。こういう仕事つていいなと思いつか自分でも商売をやつてみたいなと思っていました。

そういう動きがわからず、試行錯誤の連続でした。動きを覚えて、それがすぐに発揮されるわけでもなく……、やっぱりコツコツやらないといけないんだなと実感しましたね。また、大学時代のアルバイトの経験も今の私に大きく影響しています。今、大学生の皆さんにはあまり参考にして欲しくはありませんが(笑)、大学に入学するときにまず決意したことが、いろいろなバイクをやろうということでした。当時、私はまだ自分のやりたいことがわかつていなかつたんです。だから、多くの仕事を見て社会の仕組みを知りたいと思っていました。中でも印象に残つているのが家庭教師のバイトです。ここで人に教えることの難しさを実感しましたね。生徒たちにもそれが性格があり、得意・苦手なものもそれぞれ違う。そこで良いところを伸ばす方が良いのか、苦手なことを克服する方が良いのか、本人や親御さんとも話し合つて進めていました。これはそこで学んだことなので、すが、苦手なことつていうのは、あるところまできたらどうしても克服していくなくてはならない時がくるんです。でもそれにはものすごいパワーが必要になつてくる。今はならない時がくるんです。でもそれには働くことを考へると、約35年。同じことをしている人は飽きるのではないかと思っていたましたが、実は大学卒業後もまだやりたいことが決めきれていませんでした。60歳まで働くことを考へると、約35年。同じことをしている人は飽きるのではないかと思っていたのですが、そんな時に現在の職場である凸版印刷へ入社です。そんな時に現在の職場である凸版印刷のことを知りました。凸版印刷は印刷物はもちろん、食品のパッケージやウェブサイトの運営、メール配信の仕組みを作つたり



——今仕事を選んだ決め手はなんですか？

やりたいことが見つからないなら、今やりたいことを真剣にやる。



日本人が健康に長生きするためには、どの栄養素をどのくらい摂取すれば良いのか？その基準となる量が示されているのが「日本人の食事摂取基準」です。食事摂取基準は、その時代における健康問題や最新の研究結果を反映させるため、5年に1回改定されており、最新版の2020年版では、高齢化の進展や生活习惯病患者の増加への対策を視野に入れ、国内外の1,800以上もの論文を参考に策定されています。ここまで聞くと、

リンは生体内で骨に最も多く存在し、骨格を形成する役割を担っています。そのほか、核酸や細胞膜の構成成分になつたりエネルギー代謝に関わったりと、ヒトだけでなくあらゆる生物（植物、動物）にとって、生きるうえで欠かすことのできない栄養素であるため、生物は常に一定量のリンを生体内に蓄えています。私たちは、様々な生物の恩恵を受け食事を摂っているため、通常の食生活でリンが不足することは滅多にありませんが、近年ではむしろ過剰による健康被害が懸念されています。生体内でリンが過剰となりいると、血清リン濃度が上昇すると、動脈硬化

個人の特性に応じた栄養素摂取量の解明を目指して

食事摂取基準のとおりに栄養素を摂取すれば、最新のエビデンスに基づいた完璧な食事を摂れるように思えます。ところが栄養素によってエビデンスレベルにはかなりの違いがあり、多くの有用な研究成果に基づいて算定されたものから、十分な根拠が得られておらず「目安」として算定されているものまで様々です。私が力を入れて研究している「リン」は、エビデンスが不十分なため目安量として算定されている栄養素の一つです。

リンは生体内で骨に最も多く存在し、骨格を形成する役割を担っています。そのほか、核酸や細胞膜の構成成分になつたりエネルギー代謝に関わったりと、ヒトだけでなくあらゆる生物（植物、動物）にとって、生きるうえで欠かすことのできない栄養素であるため、生物は常に一定量のリンを生体内に蓄えています。私たちは、様々な生物の恩恵を受け食事を摂っているため、通常の食生活でリンが不足することは滅多にありませんが、近年ではむしろ過剰による健康被害が懸念されています。生体内でリンが過剰となりると、血清中のリン濃度が上昇すると、動脈硬化



――最後に大学生に向けてメッセージをお願いします。
社会人になりたての頃に先輩から言われたことがあります、「食わず嫌いになるな」と

「食わず嫌い」は損をする。
どんなことにもまずはチャレンジ！

あんなに怒られてばかりいた中学校の恩師だつて、今ではゴルフ仲間（笑）。人生の先輩の言葉からは、40歳を過ぎても学ぶことができます。今の私があるのは、これまで出会ってきた多くの人のおかげだと思っています。

と幅広く事業をやっていて、「これならいろいろな仕事ができ楽しそうだ」と思つたんです。今のお客様の方にもお伝えしたいのですが、やりたいことが見つからなくて焦らないでほしいです。私もずっと「あれもいいな」「これもいいな」とブレブレでした（笑）。だから最終的には今やりたいことをやろう」と決めたんです。結果、当時はまだ主流ではなかつたインターネットの仕事などに携わることができ、とても貴重な体験をすることができました。

――仕事をする上で大切にしていることは？
これは職人をしている親父から言われたことなのですが、人との繋がりを大切にすることです。社内の人間だけではなく、取引先の方など、今、私の名刺ソフトには1000人以上の方がいらっしゃいます。この方は、今でも何かあつたらすぐに連絡をとつて、相談ができる間柄です。本当の私は、人付き合いが苦手で、どちらかといえば根暗な方ですが（笑）、無口な親父からの言葉というのもあり、コミュニケーションは積極的に行うようにしています。

当の私は、人付き合いが苦手で、どちらかといえば根暗な方ですが（笑）、無口な親父からの言葉というのもあり、コミュニケーションは積極的に行うようにしています。



いうことです。社会人になると「あ、この仕事をイヤだな」ということも出てくると思うます。でもそれは、自分が苦手なところだから出でてくる気持ちなんです。それを率先してやってみると、終わった時には必ず成長している自分に出会えるはず。料理で嫌いしていたものでも、口に入れると「あれ？美味しい」というものもある。自分の感覚だけで決めつけずに、どんなことでもまずはチャレンジしてみてください。意外なところに、新しい自分を知るきっかけがあるものですよ。



国際文理学部 食・健康学科
栄養学研究室
准教授 佐久間 理英

徳島大学医学部栄養学科卒業、管理栄養士、徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻博士前期課程修了、徳島大学大学院栄養生命科学教育部人間栄養科学専攻博士後期課程修了、博士（栄養学）、静岡県立大学食品栄養科学部助教、桜山女子学園大学生活科学部講師、2021年より現職

My life - 過去の記事 -

112号
2020.12 極東ファイ株式会社
取締役商品経営本部本部長 吉水 請子様

113号
2021.3 株式会社ゼンリン
本社統括本部ダイバーシティ推進部長 土谷 和子様
松岡 紗様

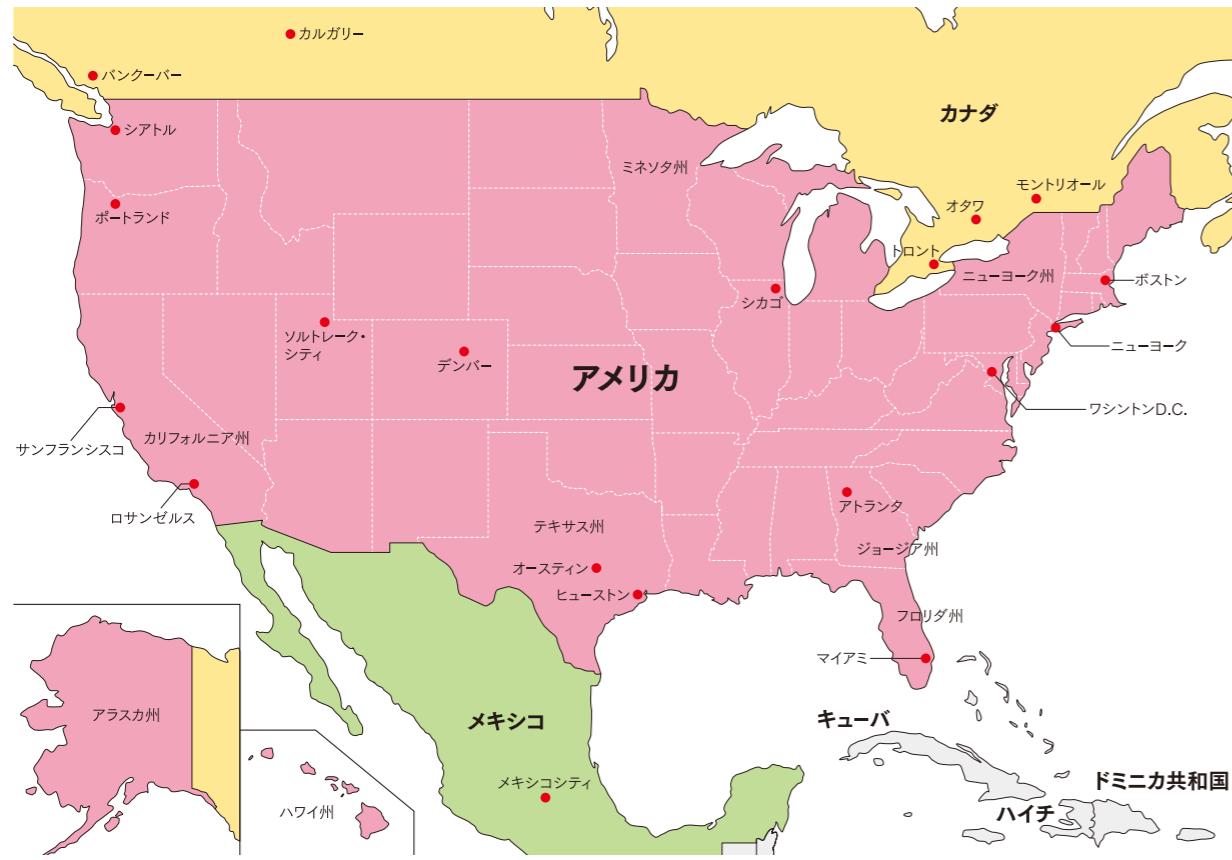
110号
2020.3 株式会社福岡銀行
人事部部長 ダイバーシティ推進室長 高鍋 優子様

111号
2020.10 株式会社西日本新聞社
北九州本社副代表兼営業部長 甲木 正子様

と幅広く事業をやっていて、「これならいろいろな仕事ができ楽ししそうだ」と思つたんです。今のお客様の方にもお伝えしたいのですが、やりたいことが見つからなくて焦らないでほしいです。私もずっと「あれもいいな」「これもいいな」とブレブレでした（笑）。だから最終的には今やりたいことをやろう」と決めたんです。結果、当時はまだ主流ではなかつたインターネットの仕事などに携わることができ、とても貴重な体験をすることができました。

「人との繋がりを大切に」
父から言われた唯一の言葉。

World history =



では、やはり制度を支える差別意識が問題なのではないか。実はそうともいえない。多くがトランプに投票したとされる白人労働者階級の境遇がその証左だ。彼らの多くが住む「ラストベルト」（グローバル化と機械化によって製造業の衰退が著しい地域）では、近年、白人で大学の学位を持たない人々の死亡率が急上昇している。日雇いの肉体労働に携わる人は関節の痛みを緩和する薬（オピオイド）を常用し、失業者は将来への不安からアルコールやドラッグに依存し、どちらも中毒死している。現状から抜けだそうとしても、多くの人権団体等が担う就労・貧困者支援を、彼らは「白人だから」という理由で受けられない。「ブラック・ライブズ・マター」は白人の

「マイノリティ」と格差社会



いこと、服役中の受刑者数に占める黒人の割合が圧倒的に高いことを前提に、公然と行為が差別的制度の一例にすぎない。

PROFILE [執筆者プロフィール]

國際教養學
講師



アメリカにおける地域コミュニティ組織に着目し、民主政治の根幹である政治参加の様々な回路や参加の意味について研究している。最近は、州レベルでのコミュニティ組織の活動と政策決定過程に焦点を当て、住民参加と政策決定の関係と動態を研究している。

の側にあるのではないか。こうした相対的な剥奪感を抱える彼らの前に、トランプが現れた。「雇用を元通りにする」というトランプの言葉に、彼らが一縷の望みを託したのだとしたら（実際にそうしたのだが）私たちは彼らを人種差別主義者と責められるだろうか？ アメリカの分断は、縦軸に連邦制、横軸に格差社会が複雑に絡み合いながら、より深まっていると言わざるをえない。もつとも、私たちもまた、厳然たる格差社会を生きている。とはいっても、生活保護受給者へのバッシングは依然として激しい。私たちもまた、社会経済的弱者への支援を「自分の税金をなぜ彼らだけに？」と感じていいだらうか。他者への不寛容がじわじわと拡大する中、アメリカは対岸の火事ではない。

二〇二〇年アメリカ大統領選挙は、異例の高投票率を記録する中、民主党大統領候補バイデンが接戦を制した。新型コロナウィルス感染症による死亡者数は右肩上がり、数千万のアメリカ人が職を失う中、選挙の最大争点は経済及び感染症対策であった。他方、それらに比肩する争点として人種問題がまたしても浮上した。

二〇二〇年の五月、ミネソタ州での白人の警察官による黒人男性、ジョージ・フロイド氏の殺害事件を受け、「ブラック・ライブズ・マター(Black Lives Matter)」運動が世界を席巻した。露になつたアメリカの根強い

は二〇一二年に起きたフロリダ州の黒人少年射殺事件をきっかけとして断続的に浸透した運動だ。また、人種問題は一九六八年（一九八〇年）の大統領選挙でも一大争点となつた。六八年には黒人暴動に対する警察当局の介入推進を謳つた共和党大統領候補クランシが、八〇年には貧困層（主に黒人）を受益者とする社会保障費の削減を訴えた共和党大統領候補レーガンが勝利を収めた。二〇〇八年の大統領選挙で史上初の黒人大統領となつたオバマは、多様性というアメリカの理念を強調することで広範な支持を得て勝利したが、それは有権者間に亀裂が生じやすい人種問題

アメリカの政治制度の歴史 まず、政治制度の問題がある。「封建社会をヨーロッパに置いてきまつとして出発した、歴史の浅い国家実、独立革命とアメリカ建国は、科書でも後半でしか登場しない。国に当たつて制定された合衆国規として機能している」右記の選

もちろん、公民権運動によって実現した
一九六五年の投票権法は、州内事項を超えた連邦政府の介入である。同法は、黒人の参政権を認め、それまでの南部における不当な投票妨害（識字テストや税金の支払いを投票条件にするなど）は廃止された。だが、今でも各州は、特定の人種や民族の投票を実質的に妨害することができる（Voter Suppression）。テキサス州やジョージア州では、有権者は投票所で何らかの身分証明書を提示する必要がある。むろん、州は投票所の統廃合を自由に行うことができ、ほとんどの州では服役中の受刑者の参政権を制限している。これらは、身分証を持たない貧困層に黒人が多いこと、彼らが遠く離れた投票所を往復するための自家用車を持たない

世界歴史 探究!

～アメリカ編～
石神 圭子＝文



力政治社会の分断要素であり続けてきた。はたして、オバマ政権時代の副大統領を務めたことから、人種問題はアメリカ政治社会の選挙戦略が奏功した結果である」とほど左様に、人種問題はアメ

邦政府と州は上下関係にはない——ことが定
ある）。この合衆国憲法には、建国前からあ
る州の主権を一部連邦政府に委譲する——連

15 5月 14 13 12 11 10 09 08

07 4月 06 05 04 03 02 3月 01 2月 01 1月

08 2021.04.03

福岡女子大学第71回・第72回合同入学式及び大学院第28回・第29回合同入学式

2020年度・2021年度入学生の合同入学式をアイランドシティフォーラムで行いました。向井学長は式辞で『次代の女性リーダーを育成』という本学の理念を皆さんと共有し、待ち受ける舞台を十分に活用しながら、豊かで実りある学園生活となることを祈念する」と述べました。また、2020年度入学生による1年間の軌跡をまとめた動画が上映され、出席した保護者からは「普段見ることができない姿が見られ、成長に感動した」などの声も聞かれました。

新入生宣誓では、食・健康学科1年今地美穂さんが「福岡女子大学の一員であることの自觉と誇りを持ち、未来に向かって日々、研鑽に励み、有意義な学生生活を送りたい」と述べました。



09 2021.04.05

新入生オリエンテーション



福女大に入學して新しいことが始まるワクワク感を新入生に存分に楽しんでもらいたいという思いから、学生・教職員有志18名を中心に企画したイベント型のオリエンテーションを開催しました。寮でのフリーマーケット、サークル紹介や履修相談会ブースなどが設けられ、新入生は思い思いの場所で先輩たちの話を聞いていました。メインイベントとして、新入生と先輩と一緒に学内や香椎駅周辺などの地域のスポットをまわるスタンプラリーを実施しました。

スタート地点ではお互いぎこちなかったものの、ゴールした後は、グラウンドでチームの皆と談笑したり、打ち解けた姿がとても印象的で大成功のイベントとなりました。

13 2021.04.09

福岡朝鮮初級学校「美化活動」

和白にある福岡朝鮮初級学校の美化活動に5名のゼミ生と一緒に初めて参加してきました。校長先生をはじめ学校の先生方や多くのボランティアの人たちと一緒に教室の掃除や校門前の道路の草刈りなどを約2時間行いました。参加した学生にとっては、実際に学校の中に入り年齢の近い女性の先生たちと談笑することにより、これまでニュースで見るだけの対象だった朝鮮学校がより身近な存在になったようでした。次回(7月18日)も参加したいと思います。(国際教養学科 教授 木村 貴)

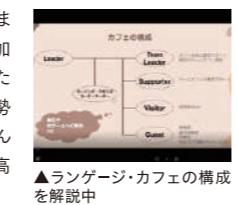


▲美化活動後にボランティアの方と一緒に

10 2021.04.09

「Language cafe 新入生向けスタートダッシュイベント」@zoom

ランゲージ・カフェの新歓イベントが開催されました。新入生に向けたもので、25名程度の参加者に対して8名のリーダーが対応しました。先輩たちは後輩に惜しみなく情報を提供していく姿勢で、スライドを用意するなど万全の準備をして臨んでいたので、参加者にとっても大変満足度の高いイベントとなったようです。



▲ランゲージ・カフェの構成を解説中

14 2021.04.23

福岡県青少年問題協議会の専門委員に選出

人文社会科学研究科のディッキー ソフィア ハナさんが福岡県青少年問題協議会専門委員に選ばれました。この専門委員は県の公募によって選出されるもので、4月23日に正式に任命されました。今年度5回の会議に出席して青少年問題について議論する予定です。

ディッキーさんコメント

福岡県が考案する次期青少年プラン(福岡県青少年健全育成総合計画)の策定に当たり、専門委員として選ばれたことに感謝しています。国籍や性別、経歴などにかかわらず社会の基盤となっている青少年を支えていくように、他の専門委員と一緒に取り組んでいきたいと思います。



▲右から二人目がディッキー
中央は服部知事

15 2021.05.15

イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム開講

5月15日「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」第6期を開講しました。開講式(オンライン開催)には、向井学長、前福岡県副知事 海老井悦子様はじめ、講師陣、修了生など多くの方にご出席頂きました。

昨年度はコロナ禍の影響でやむを得ず中止となりましたが、今年度は皆様の「学び」を止めではない。その想いで準備を進め、開講する運びとなりました。

第6期生は18名。様々な経験を持ち、既に地域や企業で活躍されている女性たち。これから約10ヶ月間、新しい視点や発想を持って学んでいきます。



▲初めてのオンライン開講式



12 2021.04.17

2021年度第1回香住っ子ひろば「開校式」「遠足」に参加しました

本学の学生(18名)が地域貢献とボランティア活動の一環として香住っ子ひろばの活動に参加しました。午前中の開校式では本活動における注意事項の説明と参加小学生より「今年度の目標発表」が行われました。午後からのアイランドシティ中央公園(グリッピの森)への遠足において本学学生も合流し、移動中の公道における小学生の安全確認をはじめ、園内の体験学習施設「ぐりんぐりん」、「こどもの広場」で安全に遊具を楽しむサポートを行なながら青空の下楽しく交流しました。

今後も本活動を通して地域の皆様との交流を深めてまいります。

01 2021.01.27 / 02.09 / 02.10 / 02.19 / 02.24

コロナに負けずにExploring “Development”(スリランカ体験学習プログラム)

コロナの影響によりスリランカへの渡航は叶いませんでしたが、大学や現地スタッフをはじめとする多くの方々のサポートのもと、オンラインでのプログラムを実施しました。小中学生への福女大生の一日紹介や海洋プラスチックごみについての発表に向けた動画作成・香椎浜でのごみ調査などの事前準備を行ううちに、気づけば年間200回以上のミーティングを重ねていました。プログラムを進めていくうちに、自分が「したい!」と思ったことに対してとことん考え抜き、やり通すことで楽しさを感じられるようになりました。(環境科学科2年 坪根由依、国際教養学科2年 村山亜美、富永楓)



▲2/10 先住民族ワニヤラップ ▲2/19 紅茶農園コミュニティ
トウの長老との対話 との交流

02 2021.02.20

EAT(アジア食文化プログラム)

EATは、梨花女子大学(韓国)及びマヒドン大学(タイ)と共同実施するアジアの食文化を学ぶ2週間のサマープログラムで、毎年各大学から約10名の学生が参加します。2020年度は、コロナ禍により海外渡航ができないため、オンラインで実施しました。コンピューター画面を通じてではありますが、学生たちが3つの国の食文化を比較しながら楽しく学ぶことができるよう、3大学の教職員が事前協議を重ねて準備しました。当日は、各学生がランチの写真を持ち寄って、使われている調味料や材料についてディスカッションするなど、活発な交流が行われ、この時生まれた学生間の交流は、プログラム後も続いています。



05 2021.03.27

ウェブオープンキャンパス

3月27日にウェブオープンキャンパスを開催し、高校生など約100人が参加しました。当日は、座談会やランゲージ・カフェ、入試・留学・就職相談が行われました。

座談会では、寮や学生生活、国際交流などをテーマに、大学生と高校生が気さくな雰囲気で話をしたり、ランゲージ・カフェでは寮で使える英語や韓国語、ドイツ語にも挑戦してもらったりと大変盛り上がりがありました。

高校生からは「たくさん質問できてよかったです」、「進学したい気持ちが高まった」などの嬉しい声が寄せられました。



▲座談会内のプレゼンテーションの様子

03 2021.03.07

「FWU卒業生対談イベント」@zoom

ランゲージ・カフェの原点となった活動の中心にいた2015年度卒業の鳥居(旧姓:堤)敦美さんと、その活動を引き継いで現在のカフェ活動の基礎を築いた2020年度卒業の真栄田夢歌さんの対談が開催されました。社会に出てから在学中に経験して役立ったことや、どうやって今までに至ったのかという話には質問も相次ぎ、学生にとっては刺激に満ちた熱いイベントとなりました。



◀イベント広報の際の2人の紹介画像

04 2021.03.17

福岡女子大学第68回・ 大学院第27回卒業式

学部生237名、大学院生15名の卒業式を行いました。式典は縮小開催とし、初の試みとしてYoutubeライブ配信(限定公開)を行いました。

梶山学長(現・最高顧問)は式辞で「社会の苦難に負けない精神力を養い、今後の人生を豊かなものにしてください」と述べました。また、式辞の中で、宮越由貴奈さんの詩「命」が九州市民大学の運営委員であり、話し方講師の中嶋恵子さんにより朗読され、「必死に考えて、自分の意見を提案できる人間に成長しよう」というメッセージが卒業生に届けられました。



06 2021.03

「私のリーダーシップ」ダイアローグ 小冊子刊行

世界を動かすひとをつくる～FWU COMPASSに示された福女大の特色のひとつ、正課内外の「体験的学習」。そのうち、教職員の関与のある「準正課活動」機会を通じ、学生が「立場にも権限にもよらないリーダーシップ」向上させる様子をまとめた小冊子を刊行しました。大学という身近な社会づくりに積極的に臨むことで、自分自身をつくりだしている学生たちのインタビュー、座談会、それを支援する教職員からのメッセージ、準正課活動一覧がコンパクトにまとめられています。※2020年度教育活動活性化提案事業



▲小冊子は大学HPからご覧いただけます

07 2021.04.02

WJC(外国人短期留学プログラム)

2021年度春学期のThe World of Japanese Contemporary Culture Program(WJC)は、外国人の入国制限が続いているため、オンラインで実施しています。4月2日にWJC生、学生サポート、関係教職員が出席してオリエンテーションを行い、春学期が始まりました。バーチャル双方型のオンライン授業は、WJC生に加えて、本学の在学生と協定校の一般学生も受講しており、国際的な人の往来ができる中、世界のさまざまな地域から多様な学生が集い、互いに学び合うことのできる貴重な機会となっています。



OPEN THE DOOR



扉の先に未来がある

山口朝日放送株式会社
報道制作局

宮原 瞳実さん

2019年度
国際文理学部環境科学科 卒業



社会で羽ばたく なでしこたち

#4

他国の文化に触れる

魅力的な寮生活

私が福女大の入学を決めたきっかけは、大学案内のパンフレットで見たシェアハウススタイルの寮生活が魅力的だったからです。私は県外出身で、知り合いが全くいない状態でした。ルームメイトと寝食を共にしたことでグッと距離が縮まり、寂しいと思うことがないほど充実していました。また、ルームメイトにはインドネシア人留学生でイスラム教徒の方がいました。宗教の規律の厳しさは聞いていましたが、その徹底ぶりに驚きました。1日に7回のお祈り、断食の時期もあり、寮の中で他国文化に触れる貴重な機会でした。

「アナウンサーになりたい」そう思って、大学3年生の春にアナウンススクールの門を叩いたことが自分が変わるきっかけになりました。そこで出会った先生に、アナウンサーとしての基礎知識や技術はもちろん、社会人とし

ての基礎知識や技術はもちろん、社会人としての基礎知識や技術はもちろん、社会人とし



学生時代の私
(フィールドワーク・鹿島干潟にて)

コミュニケーションの大切さを知った大学時代の挑戦・経験

大学時代のゼミの活動が、今の仕事に生きていると感じています。私は現地での聞き取りや調査を行う「フィールドワーク」に興味があり、国際環境政策履修コースに所属

ての礼儀を教えていただきました。毎日欠かさずカラオケで1時間の发声練習や、バスに乗っている時間は情景を頭の中で描写するなど、努力をしました。大学4年間は、授業以外の自由な時間も多いかと思います。私は色々な所に積極的に出かけたことで人と関わり、自分の将来を見つめることができます。そうすることで道が拓けただと思います。現在は夕方のテレビ番組でお天気コーナーを担当したり、キャスターとしてニュースをお伝えしたりしています。その他、ナレーターを担当したり、キャスターとしてニュースやグルメロケ、取材に出かけて記者業務に当たることもあります。たくさんの人にお会えて、刺激の多い毎日です。自分の未

熟さを痛感することも多く日々勉強です！

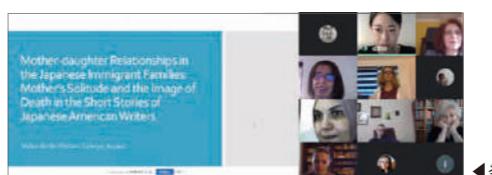
私はニックネームが瞳実のムツをとつてムツゴロウ！だったこともあります。かねてから干潟に 관심がありました。その干潟の環境を

観察の際には、先方にアポイントメントを取つて準備をし、どうすれば上手くインタビューができるかを考えました。インタビューの難しさを痛感し、日頃の会話やコミュニケーションの大切さも同時に学びました。取材

の一連の流れを学生時代に経験することができるよう努力しました。反省点は多くありますが、参加者の方と議論できたことはとても勉強になりました。この経験を今後の研究に繋げていきたいと思います。

遠藤さんコメント

初めての国際学会でとても緊張しました。戦前の日系移民一世・二世の母娘が、日系アメリカ人作家ヒサエ・ヤマモトとワカコ・ヤマウチの作品でどのように描かれているかを考察・発表しました。反省点は多くありますが、参加者の方と議論できたことはとても勉強になりました。この経験を今後の研究に繋げていきたいと思います。



▲発表の様子

福女大生へのメッセージ

「昨日の自分よりも今日の自分、今日の自分よりも明日の自分」
私のモットーとしている言葉です。
他人との比較ではなく、自分自身が挑戦し続ける毎日を送ってください。
勉強も遊びも悔いのない学生生活を！

おりあります。
先生方をはじめ出会った方々に感謝して

福女大での経験は私の財産です。
福女大での経験は私の財産です。

2020年度日本食育学会論文賞受賞



大学院人間環境科学科
博士後期課程 太田研究室
永原 真奈見

人間環境科学研究科 博士後期課程の永原真奈見さんの論文「小学校1年生の生活習慣・不定愁訴の実態と就寝時刻・保護者の生活習慣との関連」が2020年度日本食育学会論文賞に選ばれました。小学校入学したての児童の生活習慣について着目した点は本報が初めてとの高い評価を頂きました。また、保護者の食育の重要性を改めて指摘した点、膨大なデータを的確にまとめた点についても評価されており、本学での大学院の研究成果が高く評価されたものと考えます。永原さんの今後の更なる活躍を祈念しています。

2021年度教職員・学生表彰について

開学記念式典(WEB開催)において、教職員・学生表彰の受賞者が発表され、教職員1団体、学生4名と3団体が表彰されました。
これらの方には後日、学長より表彰状が授与されます。

表彰対象者

教職員	表彰理由
IR・情報化推進センター	秀抜労功表彰 全国的に蔓延するコロナ禍の中、極めて短期間で遠隔授業を実施するため、必要機材の調達、教職員ICTセミナーの実施、各種マニュアルの整備、テスト配信、学生オンラインサポート制度の立案・指導などを行うとともに、遠隔授業中も迅速できめ細かなサポート・改善を行った。
学生(学年は2021年3月現在)	表彰理由
人間環境科学研究科2年 宮崎 真緒	学術研究活動 「日本農芸化学会2020年度大会」参加で高い注目を集め、今後は抗酸化物の活用と高品質食品の創製に極めて重要な知見となった。
環境科学科4年 松浦 早紀	学術研究活動 人間・生活環境系学会誌「人間と生活環境」掲載予定期論題「入院患者の食欲低下の改善に適した皿の大きさや形状」
環境科学科4年 菊田 唯、堺 菜々子、中野 佑美	学術研究活動 論題「福岡女子大学におけるバリアフリーの現状と課題」
食・健康学科1年 藤井 祐那	課外活動 「第4回野菜摂取応援レシピ大賞～キヤベツを使ったレシピ～」最優秀賞レシピ『揚げない！たっぷりキヤベツのヘルシーメンチカツ』
国際教養学科4年 福垣 千陽	課外活動 第65回全日本学生競技ダンス選手権大会 サンバの部第1位 創部以来初となる全日本大会優勝。
食・健康学科3年 「県庁カフェ、鍋チーム」 門前 杏奈、後藤 沙菜、前田 詩乃、山上 楓花、吉岡 彩月、吉本 みなみ	社会活動 企業、官公庁と連携してメニューの開発に取り組み、本学の産官学連携に大きく貢献した。 ・「はかた地どり」など県産食材を使った地産地消鍋レシピ共同開発 ・福岡県産タケノコを使った、よかもんカフェメニュー開発
その他活動	「音楽表現」履修者 有志10名 田口 望、向 美波、太田 彩音、木村 天音、久保山 いちか、坂本 佳蓮、ドゥアンラットチャンヤー、松本 凜音、マノマイウォンパックナバパン、渡邊 萌乃子 「音楽表現」の履修生有志による舞台発表が優れているとして高い評価を受けた。

全国栄養士養成施設協会 会長表彰受賞

2020年度 全国栄養士養成施設協会から、食・健康学科の横尾純奈さんが選ばれ、表彰されました。

この賞は全国栄養士養成施設協会 会長から栄養士養成課程または管理栄養士養成課程を卒業する学生を対象に、優秀な成績を収めた学生に授与されます。横尾さんの本学での4年間にわたる努力が大きな成果につながりました。



食・健康学科 4年 横尾 純奈

▲証書授与風景

福岡女子大学100周年記念事業 未来を拓くなでしこの花 一人を育て、知を生かす



未来を拓くなでしこの花
100th-2023
FUKUOKA WOMEN'S
UNIVERSITY

寄附報告

福岡女子大学100周年記念事業基金へのご寄附に、心からの感謝を申し上げます。

計	件数	寄附額
	1,326件	156,112,726円

(2021年4月30日現在)

領収書について

2021年2月1日から2021年4月30日までにご寄附いただいた皆様には、2021年5月末頃までに「福岡女子大学 百周年記念事業基金寄附金領収書」を発送しております。

この領収書は確定申告時に必要となりますので、大切に保管いただきますようお願いいたします。

また、ご寄附いただいた方で、領収書がまだ届いていない方は、お手数ですが、募金企画部会までご連絡いただきますようお願いいたします。

寄附者ご芳名

福岡女子大学100周年記念事業の趣旨にご賛同いただき、多大なご協力・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2021年2月1日から2021年4月30日までにご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名のご公表を希望されない方は掲載しておりません。

今後とも福岡女子大学100周年記念事業への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

※本学ホームページにおいて、寄附開始以降、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載しております(ご公表を希望されない方を除く)。

1 お名前・寄附金額の掲載についてご了承いただいた ご寄附者様

※寄附金額別、五十音順にて掲載させていただきます。
カッコ内の数字は累計寄附回数です。

20万円	末吉 和子様
10万円	ホクトライティング株式会社様
5万円	株式会社北九州地域開発様
1万4,050円	Cafe Nanの木様(1万8,730円)
1万円	伊東 恒子様(3万円)

2 お名前の掲載についてご了承いただいた ご寄附者様

※五十音順にて掲載させていただきます。カッコ内の数字は累計寄附回数です。

あ	井ノ口 美佐子様(2)
上	上田 和子様(2)
さ	株式会社シティアスコム様
城	小百合様
た	高田 るみ子様
野	上電気株式会社様(3)
原	淑子様
船	岡 和子様
安	永 裕美様(2)

お問い合わせ
はこちら

福岡女子大学100周年記念事業基金(募金)に関するこ

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 募金企画部会
TEL:092-692-3200 FAX:092-661-2420 E-mail:100th-bokin@fwu.ac.jp

編纂の寄り道

記念誌編纂部会 活動報告

企画展示を開催

2021年3月17日から同年4月30日までの間、本学図書館棟1Fにて、100周年記念誌編纂部会第1回企画展示「香椎と寮とその暮らし」を開催しました。本企画展は初代香椎寮の建物や生活の様子を、写真、建築図面、福岡女子大学新聞などをもとに復元するものです。企画展本編、別編(「食べるって大事です。」、寮生の食生活に関して)、百周年記念コーナー(歴代学長の紹介)の3部構成です。記念誌編纂部会学生委員の吉田小春さん(国際教養学科)が企画・運営の中心を担いました。

企画展を開催するにあたり、様々な壁に直面しました。限られた時間と物資のなかで何ができるか、伝えたいメッセージは何か、どう見せれば関心を引けるか、などの問題にも頭をひねりました。しかし、その過程で学内外の多くの方々にご支援・ご協力を賜り、無事に会期を終えることができました。ひとえに皆様のお力添えのおかげと感じております。誠にありがとうございました。



●企画展本編の様子



●初代香椎寮落成時に作られた椅子と机

人事消息 (2021.4.1~2021.5.15)

[教員]

新任	食・健康学科	准教授	佐久間 理英	2021.4.1
		助教	田中 貴絵	
昇任	国際教養学科	教授	深町 朋子	
	食・健康学科	講師	笠原 優子	

[職員]

新任	経営管理センター	副センター長 渡辺 智子	2021.4.1
		主任 赤阪 美和子	
新任	100周年記念事業推進室	主任 大内 素智子	2021.4.1
		主任 何 艷	
新任	教務企画センター	主任 村田 彩	2021.4.1
	地域連携センター	主任 白石 望	
昇任	学生支援センター	主事 相田 梢子	2021.4.1
	アドミッションセンター	副センター長 摩郡 千香子	
退職	経営管理センター	主事 秋吉 孝宏	
新任	国際化推進センター	主事 坂本 侑里花	2021.4.1
	教務企画センター	- 後藤 仙太	2021.4.19
	100周年記念事業推進室	- 伊藤 かおり	2021.5.1
昇任	経営管理センター	副センター長 濱戸口 英樹	2021.4.1
	学生支援センター	副センター長 田中 万里絵	
昇任	アドミッションセンター	副センター長 摩郡 千香子	2021.4.1
	戦略企画センター	副センター長 山本 凌	
退職	教務企画センター	- 古海 美奈子	2021.4.30